

☆📷 土砂災害を想定
畑地区で土砂災害対応訓練



▲畑公民館前で避難者受け付けを行う参加者

6月3日、畑地区・畑公民館で土砂災害対応訓練が行われ、畑区民、県・町職員、ボランティア団体など約80人が参加しました。

訓練では、前日から大雨が続き、土砂災害の発生の危険性が高まり、避難準備・高齢者等避難開始・避難勧告が順次発令されたことを想定し、避難所の畑公民館への誘導、避難者の受け付けなどを行いました。

避難後は、県職員による土砂災害から身を守るための講習などが行われ、災害発生時の対応を確かめました。

☆📷 不用品の再利用とごみの減量
フリマでリサイクル

6月3日、函南町役場東側駐車場でフリーマーケットが行われ69区画の店舗が出店しました。

会場では衣類やバッグ、おもちゃなどさまざまな品物が販売され、掘り出し物を探す人の姿や値段交渉を楽しむ人の声が聞こえました。

この他に液肥の無料配布やふじのくにCOOLチャレンジ実行委員会による地球温暖化防止事業「クルポ」のPR、ごみの減量について考える展示などが行われ、環境保全について来場者に促しました。



▲天候にも恵まれてたくさんの来場者でにぎわいました

☆📷 パパ・ママカUP講座
「子どもとの関係が良くなる言葉がけ」



▲子どもへの効果的なほめ方を教える田熊さん

6月9日、かなみ知恵の和館でパパ・ママカUP講座が行われ、子育て中の人や子育て支援に携わる人など16人が参加しました。

講師にNPO法人親支援プログラム研究会代表田熊恭子さんを招き、「子どもとの関係が良くなる言葉がけ」をテーマに、効果的なほめ方や子ども理解のポイントなどについて話してもらいました。

参加者からは「ほめ方の具体例を聞いて分かりやすかった」「内容が濃いものだったのでまた参加したい」などの感想がありました。

☆📷 ごみゼロ統一美化キャンペーン
ごみのない美しい町へ



▲別れ道交差点のごみを拾う参加者

5月27日、町内全域で「ごみゼロ運動統一美化キャンペーン」が行われました。

同キャンペーンは、6月5日の「環境の日」にちなみ取り組みで、ごみの回収と参加者の環境意識の高揚、不法投棄・ごみのポイ捨て防止の啓発を目的として毎年5月の最終日曜日に行っています。

当日は、町議会職員、町職員、業者、企業に加え、各地区役員、小・中学校のPTA役員など約3,400人が町内の道路やグラウンドなどの清掃活動を行い、燃やせるごみ5.48トン、燃やせないごみ0.41トンのごみの回収を行いました。

☆📷 今年の出来も申し分なし
函南西瓜目ぞろえ会



▲生産者や市場関係者と等級基準の確認を行いました

5月31日、JA三島函南 函南支店出荷場で函南町の特産品「函南西瓜」の目ぞろえ会が行われました。

目ぞろえ会は生産者、市場関係者、農協職員により出荷するスイカの大きさや形状、傷、へこみによる外観、たたいた音などで中身を確認し、「秀」「優」「良」の3つの等級と重さによる階級の基準を統一します。

函南西瓜組合の組合長は「3月、4月の好天により、例年になく生育が順調に進みました。味も糖度も十分の出来栄です。」と話してくれました。

☆📷 支えあいの拠点となる「居場所」づくり
地域の支えあいのしくみ説明会



▲「居場所」づくりの大切さについて学びました。

6月1日、函南町役場で「地域の支えあいのしくみ説明会」が行われ、「居場所」づくりや運営に関心のある住民など約40人が参加しました。

町では、町民の介護予防や支えあいの拠点となる「居場所」を多くつくることを目指しています。同説明会では、「居場所」づくりを手助けするための「居場所補助金（介護予防・生活支援事業費補助金）」の申請方法などを説明しました。